

寅さん歩 その 5-7

東京の桜 2018-2



平野武宏

～ 東京の桜 2018 の続きです ～

〔下馬の桜〕（世田谷区下馬）

東急田園都市線の三軒茶屋駅から日本大学三軒茶屋キャンパスに向かう途中の下馬二丁目広場で出会い、シャッターを切りました。

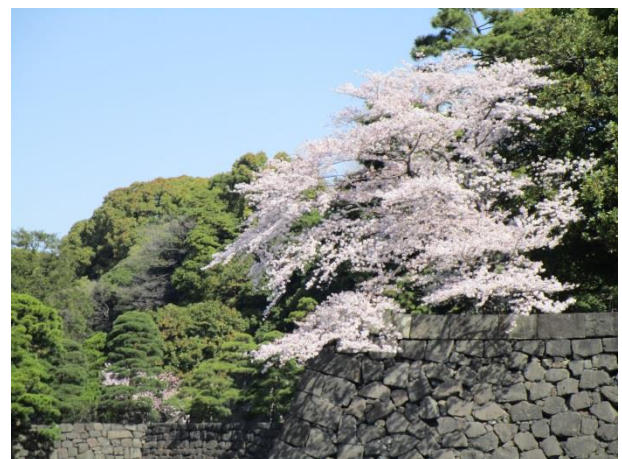
3月27日の撮影です。

知らない街を歩いていると思わぬシャッターチャンスに遭遇しますね。

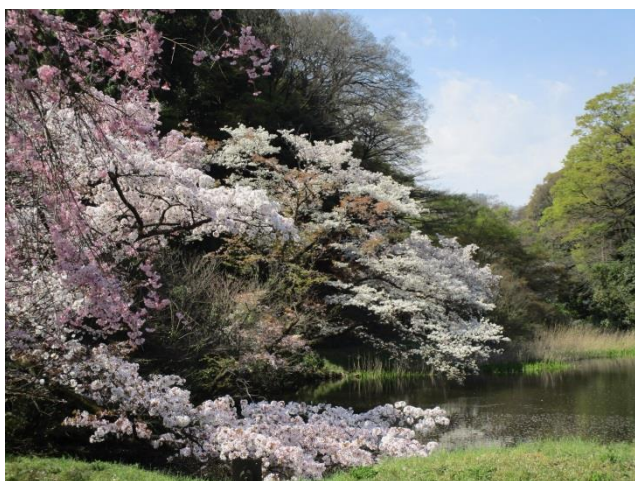
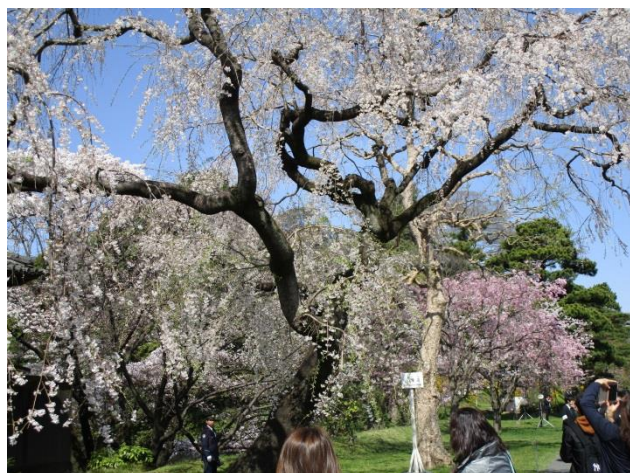
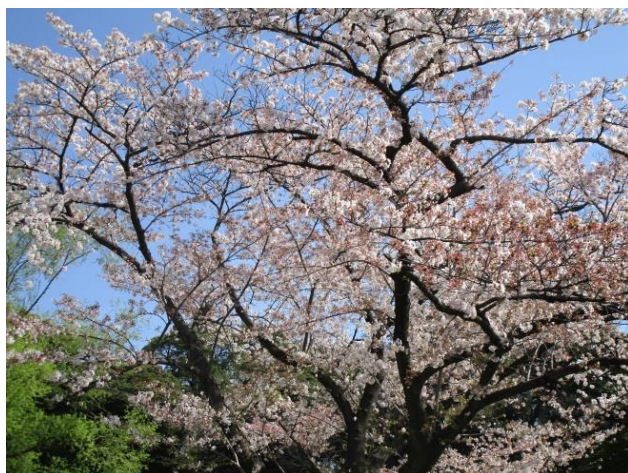


〔皇居乾通りの桜〕（千代田区千代田）

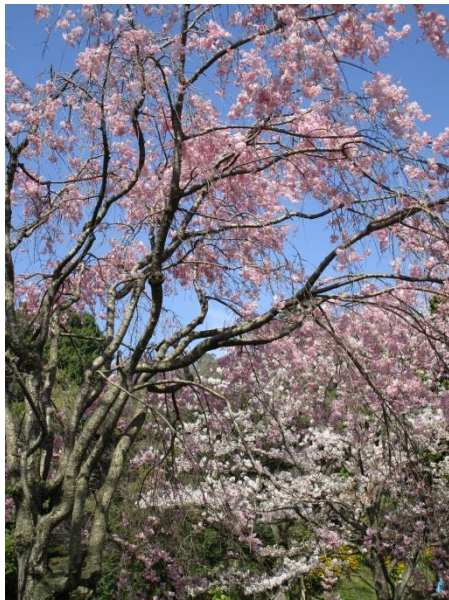
平成26年(2014年)天皇陛下の傘寿を記念して始められた春・秋の一般公開です。平成29年(2017年)秋の一般公開で紅葉は見ました(寅さん歩 その12 東京の紅葉・黄葉)が、春の一般公開は初めて参加、3月30日の撮影です。坂下門から乾門に向かう約800mの桜です。昨年の公開を休止して樹木更新工事で整備された桜は見事でした。写真下は坂下門入口外の桜です。



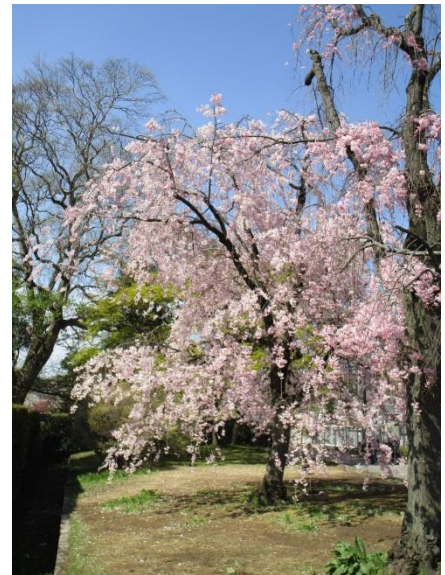
朝 9 時 15 分に到着すると約 30 分待ちで受付が始まり、手荷物検査後の 9 時 40 分に入門出来ました。桜に負けず江戸城ゆかりの山吹も頑張っていました。



写真上左は道灌掘です。右は太田道灌ゆかりの山吹の花です。



写真下 2 枚は乾門を出た所のしだれ桜です。4 月 2 日天皇・皇后両陛下がお散歩でご覧になったとのニュースがありました。



〔千鳥ヶ淵緑道の桜〕（千代田区九段南～三番町先）

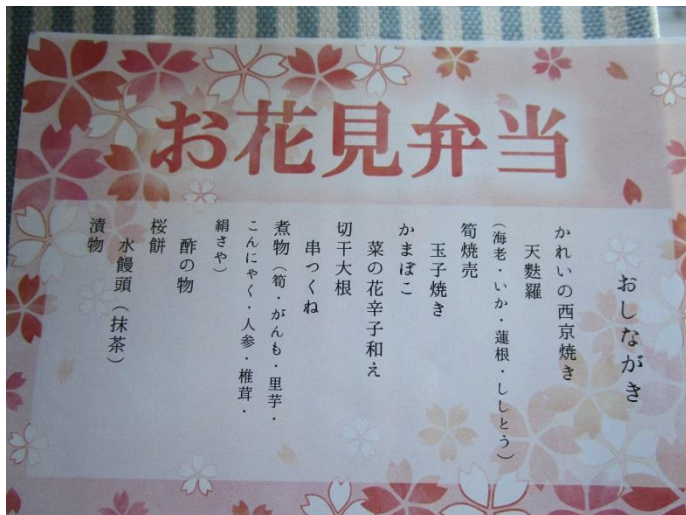
千鳥ヶ淵の桜は「東京の桜 2013」と「江戸・東京の祭(花の祭-31)」で紹介していますが、今回は千鳥ヶ淵緑道を詳しく紹介します。3 月 30 日の撮影です。乾門を出て左折、皇居外周を歩くと千鳥ヶ淵の交差点です。千鳥ヶ淵とは慶長 11 年(1606 年)江戸幕府と共に築かれた内濠のひとつで、かつては半蔵門土橋濠まで広がっていた淵の形が千鳥に似ているのが、その名の由来とのこと。明治 34 年(1901 年)の道路改修で半蔵門濠とは分されました。昭和 38 年(1963 年)特別史跡「江戸城跡」に指定されています。写真下左は半蔵門濠側、右は千鳥ヶ淵交差点を右折した緑道入口です。



案内板には「ここの桜はソメイヨシノで古くは明治 14 年(1881 年)英国大使館前に植樹されたと記録されています。現存する最も古い木は昭和 5 年(1930 年)に植えられたものですが、多くは戦後の復興機運を背景に昭和 30 年代に植樹され、今では東京屈指の桜の名所となり、多くの海外から来た方々にも親しまれています。緑道は昭和 40 年(1965 年)開通した道路を昭和 54 年(1979 年)に歩行者優先の緑道に整備、したもので平成 21 年(2009 年)一年間を通じて楽しめる四季の道として再整備されました」と記載。 寅次郎、ここの桜が大好きです。



お花見の締めくくりは緑道終点の靖国通りから内堀通りにある二松學舎大学の13Fにある展望レストランからの桜見物です。千代田区さくら祭(3月26日～4月6日)に協賛して特別営業していました。お花見弁当 1800 円を奮発しました。さくら祭が終わると、二松學舎大学の学食に使われますが、4月16日からは11時～12時、13時～14時は一般の人のランチに利用できるということです。写真下左は二松學舎大学1・2号館、右は13Fからの展望です。北の丸公園の武道館と桜、奥には東京スカイツリーも霞んで見えました。大満足のお花見でした。



次回は 東京の学食めぐり-13 です。

平野 寅次郎 拝